

[374]九州大学大型計算機センターニュース :  
No. 374

<https://doi.org/10.15017/4785609>

---

出版情報 : 九州大学大型計算機センターニュース. 374, pp.1-4, 1988-05-23. 九州大学大型計算機センター  
バージョン :  
権利関係 :



# 九州大学 大型計算機センターニュース

No. 374

1988. 5. 23

福岡市東区箱崎6丁目10番1号  
九州大学大型計算機センター  
広報教育室(TEL092-641-1101)  
内線 2505

## 目 次

1. VP-200での巨大メモリジョブのサービスについて ..... 1
2. UTSのレベルアップについて ..... 3
3. 会話型画像処理システムIPEXの機能追加について ..... 4

### 1. VP-200での巨大メモリジョブのサービスについて

5月16日(月)より、ベクトル計算機(VP-200)で90メガバイトまで使用できるようになりました。これはジョブクラス”F”の指定と、カタログドプロシジャVPFORTを指定することによって利用できます。

これに伴って、制限値を下記の通り変更します。

#### 1) M-780/20 ジョブクラスと制限値

| 適用ジョブ  |             |                | ジョブクラス | CPU時間 | ファイルアクセス | 基本ジョブサイズ | 拡張ジョブサイズ | 端末接続 | ラインプリンタ |        | XYプロッタ |      | 図形文字パターン数  |
|--------|-------------|----------------|--------|-------|----------|----------|----------|------|---------|--------|--------|------|------------|
|        |             |                |        |       |          |          |          |      | 出力枚数    | 出力行数   | 紙長     | 使用時間 |            |
| パッチジョブ | 標準ジョブ       |                | A      | 分2    | 回10000   | MB5      | MB0      | 分ー   | 枚600    | 行36000 | m10    | 分60  | パターン100000 |
|        |             |                | B      | 10    | 100000   |          |          |      |         |        |        |      |            |
|        |             |                | E      | 60    | 200000   |          |          |      |         |        |        |      |            |
|        | MTジョブ       | OPEN STATION   |        | N     | 5        | 100000   |          |      |         |        |        |      |            |
|        |             | CLOSED STATION |        | L     | 5        | 100000   |          |      |         |        |        |      |            |
|        | GRAPHIC JOB |                | G      | 10    | 100000   |          |          |      |         |        |        |      |            |
|        | AEジョブ       |                | F      | 2     | 10000    | 5        | 85       |      |         |        |        |      |            |
|        |             |                |        | 60    | 200000   | 5        | 85       |      |         |        |        |      |            |
| TSS    | NOAE TSS    |                |        | 10    | 100000   | 5        | 0        | 240  |         |        |        |      |            |
|        | AE TSS      |                |        | 2     | 100000   | 5        | 25       | 240  |         |        |        |      |            |

2) VP-200 ジョブクラスと制限値

| 適用ジョブ  |       | ジョブクラス | CPU時間 | ファイルアクセス | 基本ジョブサイズ | 拡張ジョブサイズ | ラインプリンタ |        | XYプロッタ |      | 図形文字パターン数  |
|--------|-------|--------|-------|----------|----------|----------|---------|--------|--------|------|------------|
|        |       |        |       |          |          |          | 出力枚数    | 出力行数   | 紙長     | 使用時間 |            |
| バッチジョブ | AEジョブ | A      | 分2    | 回10000   | MB5      | MB25     | 枚600    | 行36000 | m10    | 分60  | パターン100000 |
|        |       | B      | 10    | 100000   |          |          |         |        |        |      |            |
|        |       | F      | 2     | 10000    | 5        | 85       |         |        |        |      |            |
|        |       |        | 60    | 200000   |          |          |         |        |        |      |            |

注) 上記制限を超えるものは要審査ジョブ(ジョブクラス”D”)となりますので、受付まで申し出てください。

使用例)

- 1) ベクトル計算機で90メガバイトを使用するとき

```
//ジョブ名 JOB パスワード, CLASS=F
// EXEC VPFORT
//FORT, SYSIN DD DSN= ソースプログラムが入っているデータセット名,
DISP=SHR
//LOADGO, SYSIN DD DSN=データが入っているデータセット名,
DISP=SHR
```

- 2) 汎用計算機で90メガバイトを使用するとき

```
//ジョブ名 JOB パスワード, CLASS=F
// EXEC FORT77, OPTION=AE
//FORTGO, SYSIN DD DSN=ソースプログラムが入っているデータセット名,
DISP=SHR
//FORTGO, SYSGO DD DSN=データが入っているデータセット名
DISP=SHR
```

- 3) ジョブクラス”F”の優先処理

両計算機ともジョブ文のTIMEパラメタでCPU時間2分以下の指定(TIME=2), また, ベクトル計算機ではVREGIONパラメタで60MB以下の指定(VREGION='5, 55')を行うと, 指定しないものより優先的に処理されます。下記はベクトル計算機で両パラメタを指定した例です。

```
//ジョブ名 JOB パスワード, CLASS=F, TIME=2
// EXEC VPFORT, VREGION=(5, 55)
```

(第一業務樹(内) 2517)

## 2. UTSのレベルアップについて

5月16日(月)より、UTSをレベルアップしました。これに伴い、日本語ラインプリンタ(以下NLPという)の利用が可能になり、また、4.2BSD版コマンドの一部がサポートされました。

### 1) NLPの利用法

UTSでクローズ室のNLP(機番805)が直接利用できます。ただし、現在NLPの台数が少なく、MSPとの共用資源となりますので、当面は前日に出力依頼のあったものに限り、翌日の午前中に出力を行います。早急に出力結果が必要な方は、従来通りUTS→MSP間のファイル転送を利用して下さい。

#### 使用例

- (1) ファイル test.cの内容をNLPに出力する。  
%lp test.c

端末に request id is a-nnn が表示される。  
受付ID

- (2) 出力要求したジョブを表示する。  
%lpstat

- (3) 出力要求を取り消す。  
%cancel 受付ID

### 2) 追加されたBSD版コマンド

| コマンド名    | 機 能                                            |
|----------|------------------------------------------------|
| colrm    | 指定した範囲のカラムを各行から削除する                            |
| ctags    | C言語、PASCAL、FORTRANのソースから、エディタのためのtagsfileを作成する |
| expand   | タブをスペースに変換する                                   |
| unexpand | スペースをタブに変換する                                   |
| fold     | 指定したファイルを指定した長さに折る                             |
| from     | mailboxをサーチし、mailの差出人を表示する                     |
| indent   | 主として、Cプログラムソースの整形(フォーマット)に使用する                 |
| lastcomm | 既に行ったコマンドを逆順に表示する                              |
| learn    | UNIXの基礎知識についての学習を、会話形式で実施する                    |
| leave    | 離席したい時間を指定すると、指定時刻の5分前から1分毎にアラーム通知される          |

(第一業務掛(内)2517)

### 3. 会話型画像処理システム IPEX の機能追加について

標記システムについては V 2 機能が暫定的に提供されていますが、今回 5 月 16 日（月）より更に下記の機能が追加されています。なお、本システムは正式版提供までの暫定提供となっています。

- (1) ガイダンス機能
- (2) サービスルーチン機能
- (3) エディタ機能

#### ■ 機能の説明

##### ・ガイダンス

IPEX の初期画面からガイダンス部を選択することにより、はじめての利用者にも簡単に IPEX での画像処理が可能です。

##### ・サービスルーチン

IPEX では、会話型で画像処理を行う会話処理部と、プログラム上で IPEX を動作させたい利用者のために、画像処理サブルーチンライブラリを提供しています。利用者はこのサブルーチン群により、FIVIS システムを使った画像処理プログラムを簡単に作成することができますが、一部に画像情報基本サブルーチンライブラリ VIPL をを使用する必要がありました。しかし、今回のサービスルーチンの追加により、VIPL を知らなくても画像処理プログラムを作成できるようになりました。

追加されたサービスルーチン；

- ¥OPEN (IPEX のオープン処理)
- ¥CLOSE (IPEX のクローズ処理)
- ¥RDMEM (画像メモリ上のデータをプログラム内配列に読込む)
- ¥WRMEM (プログラム内配列のデータを画像メモリに書込む)

##### ・エディタ

IPEX エディタは、メニューエディタ、コマンドエディタ、キーワードエディタの三つから構成されています。それぞれのエディタについては以下の通りです。

- |   |           |       |                                                           |
|---|-----------|-------|-----------------------------------------------------------|
| ① | メニューエディタ  | ..... | 任意の IPEX コマンド列を一括実行するためのメニューを作成・修正・削除するツールである。            |
| ② | コマンドエディタ  | ..... | 利用者が作成した FORTRAN サブルーチンに対話的に実行するためのコマンドを作成・修正・削除するツールである。 |
| ③ | キーワードエディタ | ..... | メニュー、コマンドに各種パラメタ設定機能を提供するキーワードを作成・修正・削除するツールである。          |

#### 参考文献

正式版提供後には以下のマニュアルが参照できます。暫定提供中のマニュアルについては、ライブラリ室にご相談ください。

1. 計算機マニュアル FACOM IPEX 解説書 (99AR-5010-2), 富士通㈱.
2. 計算機マニュアル FACOM IPEX 使用手引書 (99AR-5030-1), 富士通㈱.

(ライブラリ室 電 (内) 2516)